

アオサギ観察会

2010年6月18日

あの巣のヒナ、何週目？

【1週目】 巣の上に白い綿毛が見え隠れしていれば、そこにはおそらく生まれて間もないヒナがいるはずです。ふわふわの羽毛で覆われた小さなヒナは、いつもうつらうつら。短いくちばしにとろんとした目で、その顔は鳥というよりまるで亀のようです。



【2週目】 長い首を伸ばして、お互いに突っ付きのポーズを見せるようになったら2週目に突入です。羽毛はまだしばらく残りますが、羽毛に代わって鞘に収まった羽（羽鞘）が見られるようになります。一日の大半は兄弟が団子状になって眠っています。

【3週目】 顔つきに少し精悍さが出てきました。けれども、コロコロした体つきはまだヒナそのもの。巣の上を歩く足元もおぼつきません。この時期は兄弟の大きさに顕著な差が表れ、小さなヒナにとっては、餌になかなかありつけない過酷な日々が続きます。



【4週目】 だいぶアオサギらしくなってきました。ただ、翼や尾羽はまだ完全に伸びきっておらず、体型はずんぐりむっくりのまま。ヒナの食欲は旺盛で、親鳥はほとんど休むことなく餌獲りに行くようになります。この先、ヒナの成長は次第にゆっくりになります。